

目次

隨筆 一九三九年

春香傳來演の頃	李孝石（金融組合）	15
無佛翁の憶出(1)ゝ(6)	李光洙（京城日報）	17
京城の電車車掌	俞鎮午（金融組合）	25
水の上	李孝石（金融組合）	29
大陸の皮(1)ゝ(4)	李孝石（京城日報）	31
秋風と共に(1)ゝ(6)	崔載瑞（京城日報）	35
金剛山雜感	張赫宙（モダン日本）	41
鐘路の吊鐘	金來成（モダン日本）	43
立飲屋のこと	金晋燮（モダン日本）	46
寸旅小感	李軒求（モダン日本）	47
差異と理解	韓植（モダン日本）	49
初冬雜記(その一)ゝ(その四)	林和（京城日報）	53
歳晚京城(1)ゝ(5)	吉鎮燮（京城日報）	59

隨筆 一九四〇年

妻	白鐵（金融組合）	67
過冬記	林和（金融組合）	71
葡萄園の主人の話	俞鎮午（金融組合）	75
柳都だより(1)ゝ(4)	李孝石（京城日報）	77
京城の春(一)(二)	李光洙（東京朝日新聞）	83
滅びゆくものの美	俞鎮午（觀光朝鮮）	85
村の生活(1)ゝ(5)	李石薰（京城日報）	87
文化の自由性	李克魯（モダン日本）	93
謙讓の精神	安含光（モダン日本）	95
朝鮮のローカル・カラー	鄭寅燮（モダン日本）	96
我が交友録	李光洙（モダン日本）	99
内鮮問答	（モダン日本）	
内地の知識階級に訴へる	宋今璇	103
麻生久先生足下	金基鎮	104
親愛なる内地の作家へ	崔貞熙	105
雜記	馬海松（モダン日本）	107
濟州島の三多	金聖七（金融組合）	111
顔が變る	李光洙（文藝春秋）	115

朱乙素描 李孝石（文化朝鮮） 117

隨筆 一九四一年

二つのお話 崔貞熙（京城日報） 123

内鮮一體隨想錄 香山光郎（李光洙）（協和事業） 125

行者 香山光郎（文學界） 135

故郷を想ふ 金史良（知性） 143

山の神々 金史良（文藝首都） 145

濟州島の民謡 趙潤濟（文化朝鮮） 149

廊下で 李孝石（金融組合） 153

流々轉々 青木洪（洪鍾羽）（新文化） 155

初秋の手紙（第一信）（第三信） 崔貞熙（京城日報） 157

隨想三題（1）（3） 李石薰（京城日報） 161

秋深き「水豊湖」行 城昌樹（文化朝鮮） 165

冬日通信（1）（3） 鄭寅燮（京城日報） 169

林芙美子と私 崔貞熙（三千里） 173

家訓 香山光郎（新時代） 175

家訓（續） 香山光郎（新時代） 179

隨筆 一九四二年

- 書齋など 鄭人澤（朝光） 185
 冬の旅 李孝石（朝光） 187
 主觀と客觀 牧洋（李石薰）（朝光） 189
 五月の空 李孝石（新時代） 191
 花 崔貞熙（文化朝鮮） 193
 車中のこと 趙容萬（東洋之光） 197
 智識人 鄭飛石（東洋之光） 199
 蛙 朴勝極（東洋之光） 201
 瓜 朴勝極（東洋之光） 207
 古本について 崔仁旭（新時代） 217
 『僧』 朴勝極（東洋之光） 221
 米 朴勝極（東洋之光） 229
 詩人廢業記 金鍾漢（金鍾漢）（新時代） 237
 京城 張赫宙（文化朝鮮） 239

隨筆 一九四三年

春支度 星野相河（裴相河）（『朝日新聞』南鮮版）

新しき美	香山光郎（『朝日新聞』南鮮版）	244
墓	朴勝極（東洋之光）	245
鯛抒情	金鍾漢（新時代）	253
朝鮮人とユーモア	俞鎮午（朝鮮）	255
國語の新聞小説と作者の言葉	（大東亞）	
京城日報「永遠の女」	牧洋	259
釜山日報「青瓦の家」	李無影	261
綿	朴勝極（東洋之光）	263
崔載瑞氏	趙宇植（文化朝鮮）	265
宣傳の効果	崔載瑞（朝鮮）	267
李孝石について	俞鎮午（朝鮮画報）	270
樹木について	李孝石（朝鮮画報）	271
燈	朴勝極（東洋之光）	273
「吠」	朴勝極（東洋之光）	279
草鞋	青木洪（金融組合）	285
俞鎮午氏	趙宇植（文化朝鮮）	294
山國の旅	香山光郎（文化朝鮮）	295
いくつかの無駄	香山光郎（金融組合）	297
豊かなる季節	俞鎮午（文學報國）	299

決戦下の内地 崔載瑞(國民總力) 301

京城の街 牧洋(文化朝鮮) 303

京城の黄昏 裴雲成(文化朝鮮) 305

舊友と語る 俞鎮午(新太陽) 307

農軍のこと 李無影(新太陽) 308

ナルパラム 金史良(新太陽) 309

朝鮮のこころ 金鍾漢(朝光) 311

草 朴勝極(東洋之光) 315

隨筆 一九四四年

牛 朴勝極(東洋之光) 321

滿洲の話 牧洋(新時代) 325

兎 朴勝極(東洋之光) 331

風土と愛情(一) 山田榮助(吳禎民)(内鮮一體) 335

土 朴勝極(東洋之光) 345

平壤の街 吳泳鎮(朝鮮) 347

昏に歌をもて 平沼文甫(尹斗憲)(内鮮一體) 349

若き世代の形象化 岩谷鍾元(郭鍾元)(内鮮一體) 353

旅の得失 牧洋(内鮮一體) 357

梨の花 徐廷鑾（内鮮一體） 361

水 朴勝極（東洋之光） 363

座談会・対談 一九三九年～一九四三年

朝鮮文化の將來 張赫宙他（文學界） 369

文化を探ねて(1)～(9) 李泰俊他（京城日報） 379

文人の立場から(1)～(7) 李光洙他（京城日報） 389

朝鮮文學の將來 俞鎮午・張赫宙（文藝） 397

『半島文化』を語る座談會(上)(中)(下) 俞鎮午他（朝日新聞「中鮮版・南鮮版」） 405

新しい半島文壇の構想 金村龍濟他（綠旗） 410

見て来た海軍生活を語る 李無影他（國民總力） 427

紀行・報告・社説他 一九三九年～一九四四年

〈紀行〉

戰線紀行(一)(二) 朴英熙（東洋之光） 433

扶餘紀行(1)～(3) 李石黨（京城日報） 441

北鮮紀行 金松「村」龍濟（綠旗） 445

〈報告〉

北支へ使して(上)下 林學洙(京城日報) 449

戦線を巡りて 朴英熙(京城日報) 451

朝鮮農民を語る 李無影(金融組合) 453

〈日記〉

山家日記 李光洙(東洋之光) 459

私の旅日記から 崔承喜(京城日報) 463

〈作文〉

授業料 禹壽榮(京城日報) 465

禹壽榮君のこと (文藝) 468

映畫を見て 禹壽榮(京城日報) 469

〈社説・声明他〉

朝鮮作家のメツセーヂ 金龍濟(セルパン) 471

朝鮮文人協會に寄す (京城日報) 474

文化運動の發足 (京城日報) 475

知識人に懇ふ(上)(中)(下) 朝鮮文人協會(京城日報) 476

皇軍感謝決議文 朝鮮文人報國會(京城日報) 480

宣言 朝鮮文人報國會（京城日報）

480

知識人總進軍の秋（京城日報）

481

〈発言・アンケート〉

私が國語で文學を書くについての信念 李孝石他（綠旗）

483

大東亞文學者大會に於ける「朝鮮側の發言集」（大東亞）

「大東亞精神の樹立」に就いて 香山光郎

485

「大東亞精神の強化普及」に就いて 俞鎮午

486

「文學による大東亞戰完遂の方法」に就いて 芳村香道

487

文學の友へ送る書翰（大東亞）

菊池寛議長へ 香山光郎

489

滿洲作家諸氏へ 俞鎮午（文學報國）

491

大いなる融和 俞鎮午（文學報國）

493

決戰朝鮮の急轉換 崔載瑞（文學報國）

494

〈その他〉

一筆啓上仕り候 吳相淳（朝鮮画報）

497

土月會が残した思ひ出の舞臺面（朝鮮画報）

498

作品出典一覧 501

『近代朝鮮文学日本語作品集（一九三九～一九四五）評論・随筆篇』解説

513

〈目次表記について〉

- ・ 上から作品名・著者名・へ本来の名・（掲載紙註／掲載書）の順。
- ・ 漢字表記については原則として原本に拠った。